

☆「大高新聞 創刊號」が寄贈されました。

11/6(火)の午前中に、本校 OB の鈴木様（大野高校第 4 回卒業生・大野市中野）が来校され、「大高新聞」の創刊号～16号までを寄贈してくださいました。創刊号の発刊日は、昭和 24 年 6 月 24 日。今から約 70 年前です。鈴木様は、新聞部の創部にも関わった初代新聞部員です。「大高新聞」は、今まで大切に自宅で保存していたのですが、当時（昭和 24 年～27 年頃）の大高の様子が分かる貴重な資料をこのまま埋もれさせてしまうには惜しいとのお考えで、大高に寄贈し、管理してもらおうとお考えになったそうです。

当時は、大野市に印刷を引き受けてくれる印刷屋さんになかったので、福井市の印刷屋に印刷を頼んだそうです。「待ちきれずに、三番にあった当時の大野駅まで創刊号の束を受け取りに行った。受け取った時には、感動した。」等、当時の思い出を嬉しそうに語ってくださいました。また、「大高新聞 創刊號」は、第 1 回の福井新聞社主催の「高校新聞」の最優秀賞を受賞したことも教えてくださいました。

私が、記事を読んでまず思ったのは、当時の高校生は、なんと大人なんだろうということです。もちろん大人ぶっていることは間違いないでしょうが、しっかり物事を考えているなど強く感じました。この点は、今の大高生も見習って欲しいと思います。

さらに、当時の大高には、「弁論部」「映研部」「体操部」など、平成時代には本校に無い部活動もあった事が分かり、資料としても面白いものだと感じました。

寄贈していただいた「大高新聞」は、図書館で保管することになりましたが、ぜひ現在の大高生にも読んでもらいたいので、しばらくの間、創刊號を生徒指導部前の掲示板に掲示します。かなり劣化しており、色も赤茶けて読みにくくはなっていますが、ぜひとも、一読してください。2号以降もしばらくは、図書庶務部（大職員室の校門側）で管理していますので、読んで観たい人がいれば、気軽に声をかけて下さい。

担任の先生方は、必要部分を読み聞かせ、しばらく教室掲示して下さい。